

No.	よみ	れぶんじんじゃ	アクセスマップ	https://goo.gl/maps/aSZufgCpJr5Diz1z6
礼④	名称	礼文神社	所在地	礼文郡礼文町大字船泊村字オションナイ

写真



上段: 礼文神社

下段(左): 石製狛犬(吽像)

下段(右): 石製狛犬(阿像)

分類	歴史的建造物
所在市町村	礼文町
所在地補足	香深港フェリーターミナルから船泊方面に向かって車で30分
構造・仕様等	木造平屋、切妻造
規格・法量等	
該当年代	文久3年(1863)? ※現建物は昭和47年(1972)
文化財指定	未指定
説明	<p>礼文神社は、文化3年(1863年)に青森県人の秋田佐吉、田中太四蔵らが、礼文島北部の久種湖畔に祠を建立して大沼神社と称したことが起源だと伝えられています。明治32年に天照大御神を祀り、明治34年中に礼文神社と改称、明治35年に、現位置に新たな社殿が建立され現在に至っています。</p> <p>狛犬は、明治38年春に越前国鮎川出身(現在の福井県福井市鮎川町)の本藤茂助によって奉納されたもので、礼文島内に現存し年代の判明している中で最古の狛犬です。本体及び台座の表面は風化が進んでいますが、首周りや尾の表現はしっかりと残されています。</p>
公開情報	通年拝観可能
参考資料	内山他2009「宗谷管内所在の狛犬」『利尻研究』28号pp.69-82
関連サイト	http://rebun.org